

社協

おうみはちまん

第3回近江八幡つながり未来塾を開催しました!



△介護者の苦勞話など、必ず自分にかえてくる家族介護の難しさを語られる川村さん(右)と井上さん(左)



△介護をする・される、介護の現実に皆さん熱心にメモを取られていました。



△参加者を代表して、堀井さんに終了証を授与しました。



△介護をオープンにして、近所への支えあいを求めることも必要ではと、問いかけました。

3月2日第3回近江八幡つながり未来塾、「介護はじめの一步」と題して開催。ひまわり館とオンライン会場として桐原コミュニティセンターで約70名の参加がありました。いざ介護を必要とするとき、あわてずに納得のいくサポートをする・受けるために、今から心と知識の準備をしておくために。長らく家族の介護をしてこられた井上幸子さん(金田学区)と川村いく子さん(岡山学区)をお迎えし、社協職員でデイサービスひまわりと居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)の管理者の2人が聞き手として、対話形式で体験を語っていただきました。介護者として意識したことや、介護される側の気持ちを知る大切さなど家族介護の難しさを話され、参加者の皆さんからは「実際の体験を聞いて良かった」「認知症の方への対応を知ることができた」「あわてずまず行うべきことを確認できた」と。つながり未来塾全3回を通じて参加いただいた14名の方へ修了証を授与し、今後の地域福祉の推進に期待を寄せました。

目次	令和5年度の社協の事業計画・予算	2
	子ども食堂情報交換会・共同募金助成事業のご案内	3
	お知らせ(心配ごと相談・善意銀行・レイカディア大学学生募集)など	4



社会福祉法人 近江八幡市社会福祉協議会

ホームページ <http://ohshakyo.or.jp/>

近江八幡市土田町1313 TEL: 0748-32-1781 FAX: 0748-36-6910
E-mail: ohshakyo@gmail.com



ホームページは
こちら

令和5年度 近江八幡市社会福祉協議会の 事業計画・予算をお知らせします！

第3次近江八幡市地域福祉活動計画の2年目を迎え、地域で見えにくい困りごとに寄り添い解決に向けて、関係機関とともに、「見守り支えあいネットワーク」の強化に取り組みます。今後も、「社協だからできることは何か」を考えながら、「困ったときは社会福祉協議会へ」。だれひとり取り残さない、居場所と役割がある、地域共生社会の実現に向けて、取り組みます。

1. おたがいを思いやるまちをめざします ～人づくり～

- (1)一部のだけでなく、みんなが関わり、ともに歩める地域にしたい
- ・広報紙の発行、啓発リポーターによる情報発信、社会福祉大会の開催など
 - ・福祉協力員ステップアップ研修会の開催、ボランティアセンター運営に関する協議の場づくり
- (2)違いを認め合い、「おたがいさん」を次の世代に伝え、「助けて」と言える地域にしたい
- ・学校や地域の福祉団体と連携した福祉教育の推進、お互いさんの地域づくり出前講座の実施など。

2. 参加とつながりによる支えあいのまちづくり をめざします ～つながりづくり～

- (1)思いを語りながら、誰もが自由に集まり、学べる場がある地域にしたい
- ・ふくしまちづくり座談会の開催、社会福祉法人への地域活動の情報提供の実施など。
- (2)一人ひとりができることを活かして、喜びやつながりが実感できる地域にしたい
- ・自治会単位の見守り支えあい活動の推進
 - ・暮らしづらさを抱えた人の中間的な居場所づくり、ひきこもりの家族の交流の場づくりなど。

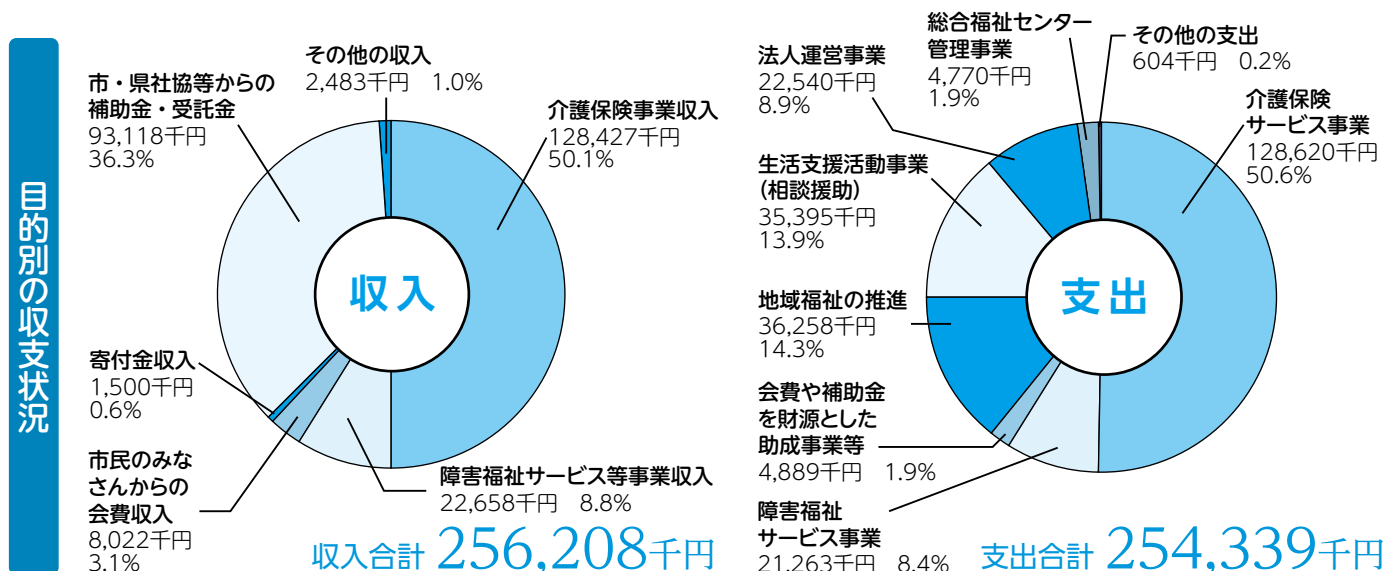
3. 安心して暮らせるまちをめざします ～基盤づくり～

- (1)困った時に身近に相談できる人がいて、必要な人に支援が届く地域にしたい
- ・心配ごと相談事業の実施（学区の相談拠点づくり）、重層的支援体制整備事業への移行準備事業（市委託事業）の実施
- (2)暮らしを支えるコミュニティ基盤が持続できる地域にしたい
- ・学区たすけあいサポートセンターの体制づくり、これからの地域福祉推進組織のあり方の検討など。
 - ・災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施、ICTを活用した災害時の迅速な情報共有に向けた取り組みなど。

【令和5年度予算】

事業活動の収支につきましては、収入総額を256,208千円（前年度比較△4,024千円）、支出総額を254,339千円（前年度比較96千円）としました。収入の内訳として、介護保険事業収入が128,427千円（収入に占める割合50.1%）、市・県社協等からの補助金・受託金が93,118千円（36.3%）、障害福祉サービス等事業収入が22,658千円（8.8%）となっています。

支出については、介護保険サービス事業支出が128,620千円（支出に占める割合50.6%）、地域福祉の推進に36,258千円（14.3%）、生活支援活動事業に35,395千円（13.9%）となっています。



令和4年度 子ども食堂情報交換会

3月13日「子ども食堂情報交換会」を行いました。コロナ禍が長く続く厳しい状況のなか、情報交換を通して子ども食堂と関係機関の関係性を深めるとともに、子ども食堂の現状や将来について話し合いたいという想いで開催し、24名の方が参加されました。



子ども食堂の活動紹介をしてもらい、グループの討議に入りました。

今年度はグループワークの時間を多く取り、それぞれのグループに分かれ、話し合いました。その中で1つのグループでは、「気になる子どもへの関わりについて」というテーマで話し合われ、「気になる子が居る事がきっかけで子ども食堂を開催した」「まちづくり協議会と民生委員が子ども食堂へ協力し、子ども達とも良い関係になっている」「様々な人が子ども達を見守る事が大事」

など、子ども食堂が地域ぐるみで子どもをまんやかにした取り組みになっていると感じられる意見がたくさんありました。



課題ごとにグループに分かれて、活発に意見をかわしました。

参加された皆さんからのご意見

- それぞれの子ども食堂の良さが分かって良かったです。
- 先生が子ども食堂に来られると子ども達も喜んでいるというお話を聞き、学校との連携を深めたいと思いました。
- 皆さんが運営に真摯に取り組んでおられる様子が伝わってきて感銘を受けました。
- 貴重な時間でした。ありがとうございます。継続的な子ども食堂、居場所づくりの大切さを感じました。



学児と保護者を対象としています。皆と一緒にご飯を食べています。お母さんが笑顔になると自然に子どもも笑顔になります!!

◀ 子ども達や地域の方々のために「必要な食材を届けられたら」という想いで活動しています。子ども食堂を支えるフードバンクびわこから

子ども食堂 ▶ 代表者の方から、「未就



近江八幡市社会福祉協議会は、今後も子ども食堂を応援し、活動者の皆さんと一緒に子ども達や地域の方々のために、より良い地域社会をつくっていくように頑張っていきます。

共同募金助成事業のご案内

皆さまから寄せられた共同募金を活用し、福祉活動に取り組む団体を応援します。



見守り支えあい活動事業助成

自治会単位の住民を主体とした見守りや支えあいの体制づくりの強化にかかる活動への助成

【助成額 事業費の10分の8とし、上限25,000円 (3年継続)】



ボランティアグループ活動助成

近江八幡市ボランティアセンターに登録し、地域福祉の推進に関するボランティア活動団体への助成

【助成額 事業費の10分の8とし、上限35,000円】



当事者団体活動助成

当事者支援を目的とする活動、当事者理解啓発等の活動をする団体へ助成

【助成額 事業費の10分の8とし、上限35,000円】

申請期間 5月10日(水)～6月30日(金) 期限厳守

受付・お問い合わせ：近江八幡市社会福祉協議会 総務課 ☎0748-32-1781

心配ごと

相談所



どこに相談すればよいのか・・・。
そんな時は、近江八幡市社会福祉協議会へお気軽にご相談してください。

相談日：平日の偶数日（祝日を除く） 13時～16時
場所：総合福祉センターひまわり館

2023年5月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

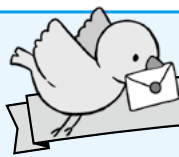
2023年6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

2023年7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

ありがとうございます！
ございます！



善意銀行便り

令和5年2月1日～令和5年3月31日

心温かいご寄付をいただきました。皆さまのご厚意に感謝申し上げます。
社会福祉や地域福祉活動に活用させていただきます。

(敬称略・順不同)

預託

◆寄付金

- 東あゆみ会 1,383円
- 八幡学区社会福祉協議会
児童福祉グループ 20,000円
- 八幡学区社会福祉協議会
厚生グループ 25,300円
- 匿名7件 251,045円

◆寄付物品

- 大宮神社 白米130kg
- 馬淵学区健康推進協議会 食料品55点
- 荒川勇 米60kg
- 高畑善憲 衣類83点
- 近江八幡地方労働者
福祉協議会 食料品182点
- 匿名10件 食料品122点
衛生用品75点 日用品1点 衣類17点

払出

◆払出物品

- 子ども食堂9か所 米130kg
食料品170点
日用品数点
- 子ども支援団体1か所 米30kg
- 生活困窮者 食料品6件
日用品2件

滋賀県レイカディア大学第45期学生募集

シニア世代が新しい知識と教養を身につけ地域の担い手として活動できるよう支援することを目的に開設されています。

募集期間：令和5年6月1日(木)～7月31日(月)

入学対象：県内に居住し、今年10月1日現在において60歳以上の方

お問い合わせ：TEL 077-567-3901
(滋賀県レイカディア大学)

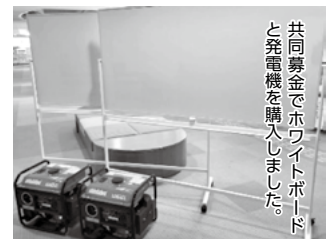
編集後記

春が来て、おおよそ3年間にも及んだコロナ禍による様々な制約が少しずつ解かれ、トンネルの先に光が見えてきたそんな気分です。自粛生活は今までの自分の生活を見つめ直す良い経験でもありましたが、やっぱり自由に活動できる日を待ち焦がれていました。ようやく暮らしの中の多くの活動も動き出し、忙しくも楽しい日々がやってきます。

共同募金の助成を受け、災害ボランティアセンターで活用する備品を購入しました。

赤い羽根共同募金令和4年度「災害ボランティアセンター」特別支援事業の助成を受け、発電機2台、ホワイトボード2台を購入しました。災害が起こった時、身近な地域にも拠点をつくりスムーズに「災害ボランティアセンター」を立ち上げできるように、購入備品を活用し、毎年訓練を行っていきます。

ありがとうございました。



共同募金でホワイトボードと発電機を購入しました。



●インキ：環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
●印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷



この広報紙は会費と共同募金の助成金でつくられています

ふくしのお困りごとは
市社協まで！ 0748-32-6111